

緑の風 FAX版



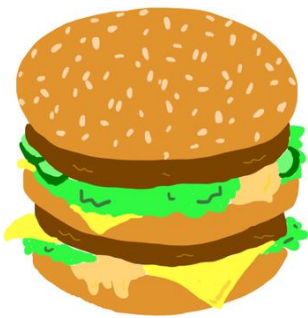
JR 東労組ホームページ

NO. 75 2021年11月30日 JR東労組

このままでいいのか？私たちの**賃金** ～働く人の所得が20年間上がっていない！～



「ビッグマック指数」で日本は世界31位



ビッグマックの価格により、為替相場を推測する一つの指標「ビッグマック指数」が発表されました。

1位はベネズエラの918円、アメリカは5位で621円に対し、日本は31位で390円。アジアで見ると韓国は440円、タイは429円です。**物価が上昇している国ではその分、国民一人あたりの所得も増加**していると言われています。

利益が働く人に還元されない！

厚生労働省による2019年の「国民生活基礎調査の概況」では、日本全体の平均世帯年収は552.3万円です。2000年からほぼ変わらない水準といわれています。水準が20年もほぼ変わらない日本社会の構造に問題があるのではないのでしょうか。

日本は非正規雇用の増加に伴う人件費削減や、海外への投資により、**大企業は利益を上げ続けた一方、労働者への還元はほとんど行われず、大企業は内部留保を増やし、私たちの所得は上がらない状況が続いています。**

そして、今はコロナ禍を理由にさらなる人件費削減などが行われ、労働者へのしわ寄せが顕著に表れています。JR東日本グループを見ても、定期昇給のカットや夏季・年末手当の支給月数が下がり続けています。



賃金について考えよう！

年末手当のたたかいの中では、「年収減は生活が厳しい」という声が多く寄せられました。収入を増やす具体的な方法としてある転職サイトでは、『①昇進や昇格などによる給与アップを目指す ②空いた時間で副業する ③給料の高い職場に転職する』と掲載されています。試験、副業、転職という選択肢で本当にいいのでしょうか？

私たちは、経験労働に基づいた質の高い労働を提供しています。しかし、その賃金が低下しています。このまま会社の言いなりでは賃金が下がり続ける一方となってしまいます。**私たちの賃金はこのままでいいのでしょうか？**

年末手当の感想を組合員同士で出し合い、次のたたかいに決起しよう！